

天使大学中期計画（2024年度～2025年度）一覧表

戦略目標		課題	担当部署・委員会	事務担当	2024年度		2025年度	
					2024年度	2025年度	2024年度	2025年度
I：建学の精神を踏まえた取組み	I-1 建学の精神の浸透	(1) カトリック精神に基づく教育理念及び学校行事の推進	宗務委員会	学務課	新任教職員への建学の精神の説明。チャペルアワーの中で全学生へ建学の精神の説明。カトリック大学連絡協議会等への参加。大学案内や宗務委員会ホームページ等による学外への建学の精神を周知。教職員修養会、イースター・クリスマスの集い、各種ミサの企画実施・参加促進。自校教育の検証	宗務行事の企画実施の見直し。新任教職員への建学の精神の説明。チャペルアワーの中で全学生へ建学の精神の説明。カトリック大学連絡協議会等への参加。大学案内や宗務委員会ホームページ等による学外への建学の精神を周知。教職員修養会、イースター・クリスマスの集い、各種ミサの企画実施・参加促進。自校教育の検証。アッセンブリー・アワーの配置。		
	I-2 天使大学ブランドの維持	(1) 天使大学ブランドの維持	事務局	総務課	同窓会等と連携して、卒業生、就職先の病院、施設等への情報発信について検討し、実施する。	同窓会等と連携して、卒業生、就職先の病院、施設等への情報発信について検討し、実施する。		
		(2) 同窓会・後援会との連携及び情報発信	事務局	総務課	同窓会・後援会・学園の三者会議開催、同窓会総会や後援会地区懇談会への出席、同窓会誌と連携した卒業生等への情報発信	同窓会・後援会・学園の三者会議開催、同窓会総会や後援会地区懇談会への出席、同窓会誌と連携した卒業生等への情報発信		
II：質保証の推進	II-1 質保証への対応	(1) 学長を中心とするマネジメント体制の整備	学長 教学マネジメント委員会	事務局長	教学マネジメント委員会活動の実質化・IRの活用 法人統合後の学長支援体制の円滑な実施、強化	教学マネジメント委員会活動の実質化・IRの活用 法人統合後の学長支援体制の円滑な実施、強化		
		(2) 大学認証評価受審	内部質保証推進委員会 教育研究評議会	総務課	第4期大学基準協会認証評価受審の準備	第4期大学基準協会認証評価の受審		
		(3) 分野別認証評価の受審	内部質保証推進委員会	総務課	①日本助産評価機構認証評価結果に対する対応 ②日本看護学教育評価機構の認証評価受審	①日本助産評価機構認証評価結果に対する対応		
		(4) 教学IR機能の整備	IR委員会	IR室	IR活動の推進 教育の質向上のための分析	IR活動の推進 教育の質向上のための分析		
	II-2 内部質保証体制と点検評価の実質化	(1) 内部質保証体制とPDCAサイクルの実質運用	内部質保証推進委員会	総務課	内部質保証の取組の推進、外部有識者委員の活用 教学マネジメント委員会との連携による学修成果の可視化	内部質保証の取組の推進、外部有識者委員の活用 教学マネジメント委員会との連携による学修成果の可視化		
		(2) 自己点検評価活動の実質化	内部質保証推進委員会	総務課	点検評価活動におけるIRデータの有効活用	点検評価活動におけるIRデータの有効活用		
		(3) 第三者による点検	内部質保証推進委員会	総務課	外部有識者委員の活用	外部有識者委員の活用		
		(4) ホームページ等による情報公開	内部質保証推進委員会	総務課	点検評価結果の公表	点検評価結果の公表		
	II-3 FD・SD活動の充実、強化	(1) FDの推進	FDSD委員会、各学科、大学院	総務課	教学マネジメント委員会との連携による必要なFDの明確化 学内研修の実施 他部署が企画するFD計画の把握及び報告 学外研修の活用促進 【栄養学科】 学内および学外研修の参加をもとに教員間の積極的な連携を強化する	教学マネジメント委員会との連携による必要なFDの明確化 学内研修の実施 他部署が企画するFD計画の把握及び報告 学外研修の活用促進 【栄養学科】 学内および学外研修の参加をもとに教員間の積極的な連携を強化する		
		(2) SDの推進	FDSD委員会、事務局	総務課	教学マネジメント委員会との連携による必要なSDの明確化 学内研修の実施 他部署が企画するSD計画の把握及び報告 学外研修の活用促進	教学マネジメント委員会との連携による必要なSDの明確化 学内研修の実施 他部署が企画するSD計画の把握及び報告 学外研修の活用促進		

戦略目標	課題	担当部署・委員会	事務担当	2024年度	2025年度	
	(3) 学修支援のための教育力向上	FSDS委員会	総務課	授業評価アンケートの実施及び質問項目・実施方法に関する見直し(継続検討) 教員間の授業参観の実施 学内研修の実施:上記(1) 学外研修の活用促進	授業評価アンケートの実施【改訂版】授業評価アンケートの導入に向けた準備(学務課との調整、全学周知) 教員間の授業参観の実施 学内研修の実施:上記(1) 学外研修の活用促進	
Ⅲ:看護栄養学部における学習成果の向上及び教育質保証の推進	Ⅲ-1 ディプロマ・ポリシー到達に向けた教育の展開	(1) 適正なカリキュラム運用及び評価・改善	教務委員会	学務課	■DPの意識づけの強化 ■試験制度の検討	(2024年度の課題の進捗及び新規課題等を踏まえ、年度内に決定する)
		(2) 学修支援の強化	教務委員会	学務課	■授業予定表の早期完成及び公開 ■アクティブ・ラーニングの促進	(2024年度の課題の進捗及び新規課題等を踏まえ、年度内に決定する)
	Ⅲ-2 学修成果の可視化	(1) ディプロマ・ポリシー到達度評価及び改善	教務委員会	学務課	■学生による到達度評価 ■教員による科目評価 ■カリキュラムマップ・ルーブリック運用の点検評価 ■カリキュラム運用課題の整理	(2024年度の課題の進捗及び新規課題等を踏まえ、年度内に決定する)
		(2) 教育課程の質保証	教職課程委員会	学務課	自己点検評価等の実施	自己点検評価等の実施
	Ⅲ-3 3つのポリシー及びカリキュラムの充実	(1) 3つのポリシー及びカリキュラムの評価	教学マネジメント委員会 学部カリキュラム委員会	学務課	【教学マネジメント委員会】 ・2020年度入学生のDP到達度評価分析 ・栄養学科入学者選抜の評価 ・大学院アセスメントポリシーの策定 【学部カリキュラム委員会】 ・現行カリキュラムの評価	(2024年度の課題の進捗、及び新規課題等を踏まえ、年度内に決定する)
		(2) カリキュラム改訂	学部カリキュラム委員会	学務課	・カリキュラム改訂の検討	(2024年度の課題の進捗、及び新規課題等を踏まえ、年度内に決定する)
Ⅳ-1 助産学教育・研究の充実	(1) 大学の理念、助産研究科教育理念に基づく教育の遂行	助産研究科教務委員会	学務課	・2023年度の日本助産評価機構の改善提示について、早急に改善実行。本学の理念と専門職大学院教育の実質化。 ・本大学院の使命である専門的な高度助産実践者の人材養成に特化したアクティブ・ラーニング、発表討論、シミュレーション授業など効果的な教育方法の工夫。 ・望ましい助産師教育におけるコア・カリキュラム(公益法人・全国助産師教育協議会、2020)のモデルに準じたカリキュラム改正の構築。	・本研究科は、研究だけの場ではなく、高度な助産専門職業人を育成する教育の実質化が使命である。大学教職員全体で使命を意識化して取り組む。 ・2024年度の評価機構の改善点をPDCAサイクルで「ほぼ解決」できることを目標。 ・助産研究科のコースワークの充実と厳格な成績評価および適切な課題研究の指導を推進する。	
	(2) 教育の質保証	助産研究科教務委員会	学務課	・カリキュラム改正と教員の活動状況について、認証評価機構からの受審を5年毎に行う。 ・具体的に事例研究やナラティブアプローチなどの課題研究を推進する。多様かつ双方向教育・マルチ学習方略を活用して、修了時の成果を経年的に分析・評価する。	・カリキュラム改正に伴う、履修形態の工夫(遠隔授業、関東圏のサテライト教室など) ・現職助産師がリススキルアップができる弾力的な履修形態を試行する。 ・専門職課程の単位互換ができる国内外の連携大学院との提携を検討する。	
	(3) 研究支援の促進	助産研究科教務委員会	学務課 財務課 図書情報課 他	【助産研究科】 ・教員と学生の双方で意義のある教育・学習手法を協働開発できる工夫を考える。 ・人的・物的・経済的支援環境を整備できるための業務改善について定期的検討会を1回/2か月持つ。 【財務課】 科研費等、外部資金獲得のための情報発信方法を検討する。	【助産研究科】 ・助産の高度専門職業人がもつ実践能力の可視化を図るよう専門学術集会に参加発表できることを努力義務化する。 ・そのための計画的な事業計画と教育・研究スケジュールを全員で取り組む。 【財務課】 科研費に係る手続きを整理したマニュアルを作成する。	
Ⅳ:大学院						

戦略目標	課題	担当部署・委員会	事務担当	2024年度	2025年度	
				教育・研究の進展	(4) 学修支援の強化	助産研究科教務委員会
IV-2 看護・栄養学教育・研究の充実	(1) 確実な学位取得のための入学前相談及び履修指導の強化	看護栄養学研究科・専攻	学務課	入学前相談の徹底、入学後履修計画指導の徹底	入学前相談の徹底、入学後履修計画指導の徹底	
	(2) リサーチループリックの活用及び研究指導の強化	看護栄養学研究科・専攻	学務課	リサーチループリックの検討(看) リサーチループリックの活用(栄)	リサーチループリックの検討(看) リサーチループリックの活用(栄)	
	(3) 研究成果発表の支援・研究支援の促進	看護栄養学研究科・専攻	学務課 財務課 他	学術振興委員会との連携による、学内研究交流会の開催、研究相談、支援 【財務課】 科研費等、外部資金獲得のための情報発信方法を検討する。 【図書情報課】 ①院生学習室PCに導入している解析ソフト(SPSS)のバージョンアップを実施する。	学術振興委員会との連携による、学内研究交流会の開催、研究相談、支援 【財務課】 科研費に係る手続きを整理したマニュアルを作成する。 【図書情報課】 ①院生学習室PCに導入している解析ソフト(SPSS)のバージョンアップを実施する。 ②院生学習室PCをWindows10からWindows11に入れ替えを実施する。	
	(4) 適正なカリキュラム運用及び評価・改善	看護栄養学研究科・専攻	学務課	博士後期課程完成年度に向けた確実な執行(看) 修了時ループリックの活用	博士後期課程完成年度に向けた確実な執行(看) 修了時ループリックの活用	
	(5) 地域の実習施設等との連携強化	看護栄養学研究科・専攻	学務課	実習施設における研究相談及び共同研究	実習施設における研究相談及び共同研究	
V: 教育に関するビジョンの構築	V-1 学部・大学院の将来ビジョンの構築	(1) 看護学科の将来ビジョンの再構築	看護学科	学務課	現行カリキュラムの評価を踏まえ、モデルコアカリキュラム改訂を視野に入れ本学の特色を生かした時代に叶う人材育成のための新カリキュラムの方向性を検討する。	本学の特色を活かし時代に叶う新カリキュラム検討にあたり、モデルコアカリキュラム改訂趣旨を理解しコンピテンシー基盤型教育を検討し、2026年度の教育に適用する準備を行う。
		(2) 栄養学科の将来ビジョンの再構築	栄養学科	学務課	学部から①大学院後期課程②就職先までを見据えたビジョンの完成を目指す	学部から①大学院後期課程②就職先までを見据えたビジョンの完成を目指す
		(3) 教養教育科のあり方検討	教養教育科	学務課	主として教養教育を実施する組織として教養教育科を置くが、そのあり方に関しては藤女子大学との連携を含めて様々な教員確保の方法について検討する。	主として教養教育を実施する組織として教養教育科を置くが、教養教育科のあり方に関しては、法人合併による効果を発揮できるよう、今後、設置する予定の両大学の連携会議において藤女子大学との協力による教員確保について検討する。
		(4) 看護栄養学研究科の将来ビジョンの再構築	看護栄養学研究科	学務課	研究指導教員を育成し、継続的な発展を目指す	研究指導教員を育成し、継続的な発展を目指す
		(5) 専門職大学院助産研究科の将来ビジョンの再構築	助産研究科	学務課	[基礎分野][教育分野] ・日本助産評価機構が提示した改善点の解決を諮る。 ・助産研究科の教育の質を維持・発展できるカリキュラム改正を行う。 ・「教育分野」の一時中断を再開できる分野コースの再編を検討する。 ・入学生定員数の充足と実習施設の確保に向けた対応策を具現化し試行する。 ・助産教育課程連携協議会の機能を活性化し、教育課程修了時の到達レベルの向上に務める。	[基礎分野][教育分野] ・日本助産評価機構の改善点について「ほぼ解決」できることを目標にする。 ・カリキュラム改正案について、学内審議を経て文科省への申請を行う。 ・新カリキュラムが遂行できるように教員体制と適切な実習施設の確保に務める ・教育分野の再編を行い、入学定員数の充足と本研究科の教育成果の明示化に務める。 ・助産研究科の教育の質を維持・向上できる教員力の育成・強化を図る。

戦略目標		課題	担当部署・委員会	事務担当	2024年度	2025年度
VI：学生募集・学生受け入れ態勢の充実	VI-1 学生の受入れ拡充	(1) 栄養学科志願者増加への対策	栄養学科・広報委員会	入試広報課	【栄養学科】 入試・広報室との連携・協働支援の強化（積極的な広報活動） 総合選抜入試に向けての準備・実施 【広報委員会】 総合入試開始に伴い、新制度をアピールし志願者増を図る。また、学科と連携して道内競合校との差別化についてより明確化することに取り組む。	【栄養学科】 総合選抜入試結果・評価からの検討 【広報委員会】 総合入試開始に伴い、新制度をアピールし志願者増を図る。また、学科と連携して道内競合校との差別化についてより明確化することに取り組む。
		(2) 大学院在籍学生比率の向上	大学院	入試広報課	助産研究科のカリキュラム改正にともなう定数減数と充足、看護栄養学研究科院生の確保	助産研究科の定数確保、看護栄養学研究科院生の確保
	VI-2 入学者選抜への対応	(1) 入学者選抜の検討	入試委員会	入試広報課	指定校の積極活用や総合入試を含む年内入試の充実度UP、および一般選抜の科目や方法について再検討を行い、定員確保に努める。	指定校の積極活用や総合入試を含む年内入試の充実度UP、および一般選抜の科目や方法について再検討を行い、定員確保に努める。
		(2) 入学者選抜におけるリスク管理の強化	入試委員会、大学院	入試広報課	大学院・学部の入試問題の公開する。（看護学専攻は配布資料としての公開を行う）。出題ミス防止のため選抜問題の確認を現状の体制で強化していく。	大学院・学部の入試問題の公開する。（看護学専攻は配布資料としての公開を行う）。出題ミス防止のため選抜問題の確認を現状の体制で強化していく。
		(3) 入学者選抜のインターネット出願、ポートフォリオ利用検討	入試委員会	入試広報課	教学システムとの連携を含んだ、WEB入試システム導入が承認されたことに伴い、2026年度入試から実施する予定。	2026年度入試から実施予定。
		(4) 社会人選抜のあり方検討	各学科、大学院、入試委員会	入試広報課	情報収集、点検評価及び追跡調査の方法検討、選抜方法の検討 【看護学科】 社会人入学希望者の動向等の情報を収集し、社会人を取り込む方法とその可能性を検討する。	情報収集、点検評価及び追跡調査の方法検討、選抜方法の検討 【看護学科】 社会人選抜の方法を検討し、社会人への広報活動を実施する。
	VII-1 学生支援策の充実	(1) 休学者・退学者の減少対策の実施	各学科・大学院	学務課	休学・退学予防策の実施、休学者支援強化 【看護学科】 成績不振者の状況を分析し、学生や保護者に周知し、予防策を検討する。 学生生活、職業へのコミットを把握し支援する。 【栄養学科】 休学者支援強化 ・支援教員マニュアル整備	休学・退学予防策の実施、休学者支援強化 【看護学科】 低学年からの学習支援を保護者と連携して行う。（成績不良者への連絡） 【栄養学科】 休学者支援強化 実施と検討
		(2) 奨学金制度の充実	学生委員会 大学院	学務課	「新しい本学奨学金制度」を運用した上で、あらためて奨学金制度を見直す。 ・奨学金の原資を増やすため、奨学基金の創設を検討する。 ・大学院と連携しながら、大学院の給付奨学金制度の拡充について検討する。	「新しい本学奨学金制度」を運用した上で、あらためて奨学金制度を見直す。 ・奨学金の原資を増やすため、奨学基金の創設を検討する。 ・大学院と連携しながら、大学院の給付奨学金制度の拡充について検討する。
(3) 課外活動への支援の充実		学生委員会	学務課	①学生の部・サークル活動への参加促進、活動活性化のサポート ②部・サークルと「企業・地域・外部団体」との連携をサポート ③学生のボランティア・社会活動への参加促進	①学生の部・サークル活動への参加促進、活動活性化のサポート ②部・サークルと「企業・地域・外部団体」との連携をサポート ③学生のボランティア・社会活動への参加促進	

戦略目標	課題	担当部署・委員会	事務担当	2024年度	2025年度	
VII：包括的な学生支援策の充実	(4) 学生満足度調査の活用	学生委員会	学務課	「2023年度学生生活についての調査（学生生活実態調査＋学生満足度調査）」、「2023年度卒業・修了時アンケート」の報告書を作成する。 ②「2024年度学生生活実態調査」、「2024年度卒業・修了時アンケート」を実施する（集計は2025年度）。 ③関係部署と質問項目について見直しをする。	①「2024年度学生生活実態調査」、「2024年度卒業・修了時アンケート」の報告書を作成する。 ②「2025年度学生生活実態調査」、「2025年度卒業・修了時アンケート」を実施する（集計は2026年度）。	
	VII-2 健康管理面の支援	(1) 保健相談室、学生相談室による支援	健康管理運営委員会	学務課	①学内での救護・応急処置 ②健康に関する個別相談・情報発信 ③「こころの健康ミニ講座」の実施	①学内での救護・応急処置 ②健康に関する個別相談・情報発信 ③「こころの健康ミニ講座」の実施
		(2) 障害学生への支援	各学科・大学院健康管理運営委員会	学務課	①年に1度「障害学生支援申請の窓口」、「障害学生への支援の流れ」に関する情報を全学生・教職員に対して発信する。 ②障害学生に対する支援の充実を目指す。 【栄養学科】 障害学生への支援の充実を目指す ・支援教員マニュアルの整備	①年に1度「障害学生支援申請の窓口」、「障害学生への支援の流れ」に関する情報を全学生・教職員に対して発信する。 ②障害学生に対する支援の充実を目指す。 【栄養学科】 障害学生への支援の充実を目指す
		(3) 健康診断による健康の維持・増進	健康管理運営委員会	学務課	①学内での定期健康診断の実施 ②学内での抗体価検査、ワクチン接種の実施	①学内での定期健康診断の実施 ②学内での抗体価検査、ワクチン接種の実施
		(4) ハラスメントへの対応	キャンパス・ハラスメント対策委員会	総務課	教職員及び学生に対するキャンパス・ハラスメント防止のための啓発活動	教職員及び学生に対するキャンパス・ハラスメント防止のための啓発活動
	(1) キャリア支援の充実	(1) キャリア支援の充実	各学科 大学院 就職委員会	学務課	・就職活動スケジュールに沿った就職セミナーの企画、実施の充実 ・就職活動支援のため、学科、就職委員、学生支援教員との連携・協働支援の強化 ・看護師、管理栄養士の管理職経験者による面接指導の実施 【栄養学科】 学科、就職委員、学生支援教員との連携・協働支援の強化	・就職活動スケジュールに沿った就職セミナーの企画、実施の充実 ・就職活動支援のため、学科、就職委員、学生支援教員との連携・協働支援の強化 ・看護師、管理栄養士の管理職経験者による面接指導の実施 【栄養学科】 学科、就職委員、学生支援教員との連携・協働支援の強化
					(2) 求人開拓の推進	各学科 大学院 就職委員会

戦略目標		課題	担当部署・委員会	事務担当	2024年度	2025年度
VII-3 キャリア支援の充実・強化	(3) 国家試験合格率の向上	各学科	学務課	業者模擬試験、対策講義、個別指導の充実 【看護学科】 模擬試験費用の一部を後援会からの補助を検討する。 【栄養学科】 業者模擬試験、対策講座、個別指導の充実 低学年からの学修支援の習慣化 【助産研究科】 〔基礎分野〕個別指導の充実、業者模擬試験受験を推奨する。	業者模擬試験、対策講義、個別指導の充実 【栄養学科】 業者模擬試験、対策講座、個別指導の充実 低学年からの学修支援の習慣化 【助産研究科】 〔基礎分野〕個別指導の充実、業者模擬試験受験を推奨する。	
	(4) 実習施設の確保	教育研究評議会 各学科 大学院	学務課	新規実習施設開拓、過年度休み中の実習施設の再開要請、実習巡回時の施設開拓、実習時期変更に伴う施設確保 【看護学科】 実習施設の再開要請、新規実習施設の開拓を行う。 臨床教授制度の導入による施設との連携を強化する。 【助産研究科】 ・Mentor制の実習導入に向けて助産教員と臨床指導者の交流学習会を開催して双方の質向上を図る検討をする。 ・指定規則の分娩介助例数を満たす実習方法について具現化できる方策を臨床と検討する。 ・アドバンス助産師や臨床教授・講師等の規定を活用できる適切な実習施設を確保し、高い実践力を修得できる臨床との連携を強化する。	新規実習施設開拓、過年度休み中の実習施設の再開要請、実習巡回時の施設開拓、実習時期変更に伴う施設確保 【看護学科】 コンピテンシー基盤型教育に適合する実習施設を開拓する。 臨床教授制度を効果的に活用できるように検討する。 【助産研究科】 ・Mentor制の実習導入を試行して成果を分析検討する。 ・「(仮) 助産実習モデルプラン」のプロジェクトチーム基盤を作り、道内に限らず本学と実習施設の連携・強化を検討する。	
	(5) 教員採用試験対策の充実	教職課程委員会	学務課	教員採用試験対策指導の保証	教員採用試験対策指導の保証	
	VII-4 学生情報の適正管理と活用	(1) 在学中の情報	学生委員会	学務課	学生等の個人情報を適切に管理・使用するため、「学生の個人情報の保護に関する規程」を遵守するとともに、「学生等の個人情報の取扱いに関する同意書(包括同意書)」を全学生に対して提出を求める。	学生等の個人情報を適切に管理・使用するため、「学生の個人情報の保護に関する規程」を遵守するとともに、「学生等の個人情報の取扱いに関する同意書(包括同意書)」を全学生に対して提出を求める。
		(2) 就職情報	就職委員会	学務課	就職活動状況一覧の作成	就職活動状況一覧の作成
(3) 卒業後の情報		学生委員会	学務課	卒業生・修了生に対し、Google フォームを利用して卒業後の住所、携帯電話番号、卒業後も使用できるメールアドレス等を収集する。	卒業生・修了生に対し、Google フォームを利用して卒業後の住所、携帯電話番号、卒業後も使用できるメールアドレス等を収集する。	
VIII-1 地域との連携	(1) 札幌市東区との連携事業、5者連携事業の推進	地域連携等委員会	学務課	東区5者連携事業①「ひがしく健康・スポーツまつり」での『健康塾』ブース参加、②「ひがしく健康づくりフェスティバル」(区民センター)での発表等	東区5者連携事業①「ひがしく健康・スポーツまつり」での『健康塾』ブース参加、②「ひがしく健康づくりフェスティバル」(区民センター)での発表等	
	(2) 札幌市との協定事業の推進	学生委員会	学務課	「福祉避難場所等への学生等ボランティアの派遣協力に関する協定書」に基づき、札幌市で大規模な地震、風水害等の自然災害が発生した時の福祉避難場所等への派遣協力に応じる学生ボランティアを募集する。	「福祉避難場所等への学生等ボランティアの派遣協力に関する協定書」に基づき、札幌市で大規模な地震、風水害等の自然災害が発生した時の福祉避難場所等への派遣協力に応じる学生ボランティアを募集する。	
	(3) 他大学との連携事業の推進	地域連携等委員会	学務課	天使大学・北海道科学大学連携公開講座の実施、夕張地域医療体験(北海道科学大学実施)への学生参加	天使大学・北海道科学大学連携公開講座の実施、夕張地域医療体験(北海道科学大学実施)への学生参加	
VIII: 地域連						

戦略目標	課題	担当部署・委員会	事務担当	2024年度	2025年度	
携と社会貢献の促進・充実	(4) 大学独自の取組の継続	地域連携等委員会	学務課	ライフステージ支援事業（介護予防センターとの連携）、学生による地域活動への参加推進	ライフステージ支援事業（介護予防センターとの連携）、学生による地域活動への参加推進	
	VIII-2 実習施設と実習施設との連携強化	教育研究評議会	事務局各課			
	VIII-3 国際交流の推進	(1) 海外研修・学習プログラムの継続	学生委員会 助産研究科	学務課	・藤学園との法人統合を契機として、海外研修について藤女子大学との協力・連携を模索する。 ・海外研修事業の抜本的な見直し、関係委員会との連携	【助産研究科】 国際助産実習でUKロンドンでの周産期医療を視学、City Univercity LONDONでの助産学生との異文化交流、海外講師からの特別講義を検討
(2) 海外大学との交流検討		学長 教育研究評議会	総務課	韓国カトリック大学校との連携協定の継続可否の検討。ASEACCU国際会議参加の検討。本学の規模にふさわしい国際交流活動の在り方を見直す。	韓国カトリック大学校との連携協定の継続可否の検討。ASEACCU国際会議参加の検討。本学の規模にふさわしい国際交流活動の在り方を見直す。	
IX：大学基盤の充実	IX-1 教職員の人事体制の確立	(1) 計画的な教職員の確保等	学長 管理運営協議会	総務課	各学科長等の意見を踏まえて人事方針の早期策定に努め、計画的な教員採用に努める。教員採用・昇任規程の適切な運用、教員評価制度の適切な運用	各学科長等の意見を踏まえて人事方針の早期策定に努め、計画的な教員採用に努める。教員採用・昇任規程の適切な運用、教員評価制度の適切な運用
	IX-2 教育研究環境の整備	(1) 情報システムの安定稼働	情報処理室	図書情報委員会	①情報システム更改の対応を実施する。 ②学内PCをWindows10からWindows11に入れ替えを実施する。 ③情報システム安定稼働を継続する。 ④会議システムをZoomからGoogleMeetに変更する。	①院生学習室PCをWindows10からWindows11に入れ替えを実施する。 ②学内Officeの全て最新化する。 ③情報システム安定稼働を継続する。
	IX-3 施設・設備の充実		管理運営協議会	財務課	必要なサービスを安定的に提供するため、施設・設備を適正に適正に実施する。 2024年度は3号館屋上防水と6号館エレベーターの改修工事を行う。	必要なサービスを安定的に提供するため、施設・設備を適正に適正に実施する。
	IX-4 働き方改革への対応	(1) 時間外勤務の削減、同一労働同一賃金等への対応	事務局	事務局各課	業務の平準化と組織的な効果の推進	業務の平準化と組織的な効果の推進
	IX-5 コンプライアンスの徹底	(1) 法令遵守の徹底			業務遂行に関する各種法令の周知徹底に努める。	業務遂行に関する各種法令の周知徹底に努める。
		(2) アカデミック・ハラスメントやパワー・ハラスメントの防止と相談体制の整備	キャンパス・ハラスメント対策委員会	総務課	教職員に向けたハラスメント防止のための研修会等を開催	教職員に向けたハラスメント防止のための研修会等を開催
IX-6 危機管理体制の整備	(1) 「危機管理マニュアル」の整備、運用	学生委員会 健康管理運営委員会 衛生委員会 図書情報委員会 事務局	事務局各課	危機管理マニュアルに基づく訓練と実施結果によるマニュアルの改善活動の実施 【学生委員会、健康管理運営委員会】 ・「学生に関する事件・事故・不祥事等危機管理個別マニュアル」を優先順位の高い項目から順次整備する。 【図書情報委員会】 「図書館・情報処理室危機管理マニュアル」の作成について情報収集および検討する。	危機管理マニュアルに基づく訓練と実施結果によるマニュアルの改善活動の実施 【学生委員会、健康管理運営委員会】 ・「学生に関する事件・事故・不祥事等危機管理個別マニュアル」を優先順位の高い項目から順次整備する。 【図書情報委員会】 「図書館・情報処理室危機管理マニュアル」を作成する。	
	(2) 災害対応用備蓄品の整備	事務局	総務課 財務課	災害備蓄品の購入	災害備蓄品の購入	

戦略目標		課題	担当部署・委員会	事務担当	2024年度		2025年度	
IX-7 大学連携会議の推進		(1) 大学連携による教育研究活動充実の可能性 新事業名「藤女子大学・天使大学連携会議の推進」	管理運営協議会	事務局長	「藤女子大学・天使大学連携会議」の円滑な推進		「藤女子大学・天使大学連携会議」の円滑な推進	